

# 【星空観察】

H30ver.

## 活動前の準備

- ・マニュアル、物品の貸し出し
  - 天体望遠鏡 接眼レンズ（2個：30倍・75倍） 天頂ミラー（1個）
  - ※望遠鏡・レンズ・天頂ミラーは同じ番号（1～5）のものを使う。
  - マニュアル（天体望遠鏡の使い方等）
- ・指導者で打ち合わせ

## 確認事項

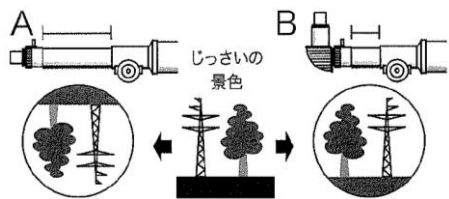
活動日時

（ 月 日 時 分  
 ～ 時 分）

集合場所：（ ）

屈折式天体望遠鏡の特徴

- ・Aでは逆さまに見える。
- ・Bでは左右逆に見える。
- ・Bでは天頂ミラーの分だけ、チューブを短くすればピントが合う。



**50mm屈折式経緯台・ラプトル50**

- フード
- 対物(たいぶつ)レンズ
- 鏡筒(きょうとう)
- のぞき穴ファインダー
- 取り付けネジ・押さえネジ(黒)
- 上下固定(じょうげこてい)ネジ
- 架台(かだい) ※経緯台(けいゐたい)という形式の架台です。
- 三脚(さんきゃく) 開き止め
- スチール三脚(さんきゃく)

**SCOPE TECH RAPTOR 50**  
 Precision Optics for entry scope

対物レンズ有効径 50mm  
 (高精度アクロマートレンズ)  
 対物レンズ焦点距離 600mm  
 分解能 2.43秒  
 極限等級 10.3等  
 集光力 肉眼の51倍

とくちょう

スコープテック・ラプトル50は、小さいけれど高性能(こうせい)な日本製の天体望遠鏡(てんたいぼうえんきょう)です。人間の目の50倍も光を集め、30倍細かいところまで見分ける能力(のうりょく)があります。400年前のイタリアの天文学者、ガリレオ・ガリレイが使っていた望遠鏡よりずっと良く見えるのです。だから月のクレーターはよく見えるし、小さいけれど土星のワッカも木星のももよく見えます。星空にこの望遠鏡をむければ、あなたにとっての最初の発見がたくさんあることでしょう。そしてあなたがこの望遠鏡で発見したことをお友達に教えてあげてください。

ファーストライトってなに？

天体望遠鏡に初めて星や月の光を通すことをファーストライトと言います。天文台などで使われる大きな望遠鏡は、ファーストライトの時に望遠鏡の基本的な性能のチェックを行います。あなたがこの望遠鏡で星空をはじめてのぞいた記念の日として、下に書いておきましょう。

First Light (ファーストライト)の日 年 月 日  
 名前 年齢 歳

赤城6

## 注意すること・片付けの注意点

- 接眼レンズや対物レンズには指紋をつけないようにする。指紋がついてしまったら事務室へ報告を。
- ※メガネ拭きやハンカチでレンズを拭かない。ブローアがあればブローアでほこりを吹き飛ばす。
- 観察するときは低倍率（30倍）高倍率（75倍）に変えるのがコツ。
- ※30倍→月・星雲・星団 75倍→月のクレーター・土星・木星・金星・火星・二重星 が見える。
- 太陽の方は見ない。（昼間）
- 片付けをする際は、必ず元の状態に戻す。
- 望遠鏡・接眼レンズ・天頂ミラーのシールの確認（剥がれていたら事務室へ報告）
- 接眼レンズ・天頂ミラーは元の袋に入れる
- フードに黒色のカバーを取りつける（カバー内側に「赤城」のシールが貼ってある）